

ガーデンふ頭にぎわい創出特別委員会資料

(平成29年3月13日)

目 次

ガーデンみ頭のにぎわい創出について-----1

ガーデンふ頭のにぎわい創出について

1 ガーデンふ頭の状況

平成29年4月に金城ふ頭において開業予定のレゴランド・ジャパンは、年間200万人の来場者を見込んでいる。名古屋港水族館の更なる魅力向上を図ることにより、ガーデンふ頭へ多数の来訪者を誘導し、同年3月25日にリニューアルオープンを予定している南極観測船ふじとともに、ガーデンふ頭のにぎわい創出につなげていきたいと考えている。

(1) 名古屋港水族館の更なる魅力向上

ア 名古屋港水族館の果たすべき役割

名古屋港水族館は、水族に関する知識を広め、水族への親しみを深めることにより、県民・市民等の自然環境に対する意識の高揚を図るとともに健全な余暇の活用に資することを目的に設置された。

南館は、「南極への旅」をテーマに平成4年10月29日にオープンし、日本の海から南極に至るまでの水域に生息する様々な生き物たちを飼育展示しており、特にウミガメ類・ペンギン類等の種の保存・繁殖・研究活動に力を入れている。

北館は、「35億年はるかなる旅～ふたたび海にもどった動物たち～」をテーマに平成13年11月1日にオープンし、これまでシャチ・バンドウイルカ等の海棲哺乳類を飼育展示するとともに、これらの繁殖研究を進めてきた。

レクリエーションの機会・教育の場の提供のほか、希少生物等の種の保存、水族に関する保護・研究活動に積極的に取り組んでいる。

イ 名古屋港水族館におけるシャチの飼育展示

(ア) 雄シャチ「アース」の買入目的

長期的・安定的な複数頭のシャチの飼育展示の確保と併せ、メインプールでの展示を目指し、ガーデンふ頭及び名古屋港全体のにぎわい創出につなげていく。また、種の保存の観点から、本組合所有の「リン」とともに雌雄のシャチによる主体的かつ継続的な繁殖研究に取り組んでいく。

(イ) メインプールでの展示内容

海のように広がるメインプールでの海洋生態系の頂点に立つシャチの雄大でダイナミックな姿をご覧いただきながら、シャチの生態に迫り、その優れた能力、圧倒的な存在感を来館者に紹介することにより、大自然が育んだ命の力強さ、尊さを伝える展示としていく。

展示手法については、シャチ本来の生態、能力（知能、学習、運動等）や科学的な情報等について、大型映像表示装置を有効活用しながら、来館者に分かりやすく伝えていく。

これまで「アース」の所有者である鴨川シーワールドは、名古屋港水族館の飼育員及び獣医師の技術レベルが未成熟であったため、シャチをメインプールに出すことについては否定的であった。しかしながら、鴨川シーワールドから3頭のシャチが移送されて5年が経過し、現在では、名古屋港水族館の飼育員及び獣医師の技術レベルについて、鴨川シーワールドから高い評価を受けるに至っている。このことにより、「アース」の所有権移転を前提に、シャチのメインプールでの展示に鴨川シーワールドの理解が得られたため、所有者の責任・判断で、メインプールでのシャチの公開トレーニングを実施する。

なお、「ステラ」については、平成28年度末で契約期間満了となるため、契約更新する。

(ウ) 今後の繁殖研究等

名古屋港水族館は、シャチ等の海棲哺乳類の繁殖研究を更に推進していくため、大学等の研究機関と種の保存に係る技術の相互交換や共同研究の発展・促進を目的とした学術交流事業の深化・拡大を図っている。あわせて、国内外他園館との連携も不可欠であり、情報交換や共同研究等の相互協力も引き続き強化していく。

今回買入予定の「アース」についても、研究機関と連携し、性成熟過程におけるホルモン濃度・行動の変化等の観察、精液の採集方法等の繁殖生理を中心とした研究を進めていく予定である。「アース」は、国内唯一の雄の個体であり、世界的にみてもこれから性成熟を迎える雄シャチの飼育事例は「アース」を含めて6頭しか存在しない。こうした個体の繁殖研究を進め、世界の繁殖研究活動の分野で名古屋港水族館が主導的な役割を担うことにより、シャチ等希少海棲哺乳類を飼育する水族館としての社会的使命を果たすことができると考えている。

こうした繁殖研究の成果を分かりやすく展示していくことで、今まで以上に、県民・市民を始めとする多くの方々に、生き物の命に対する理解を深めていただけると考えている。

(エ) 買入れの時期

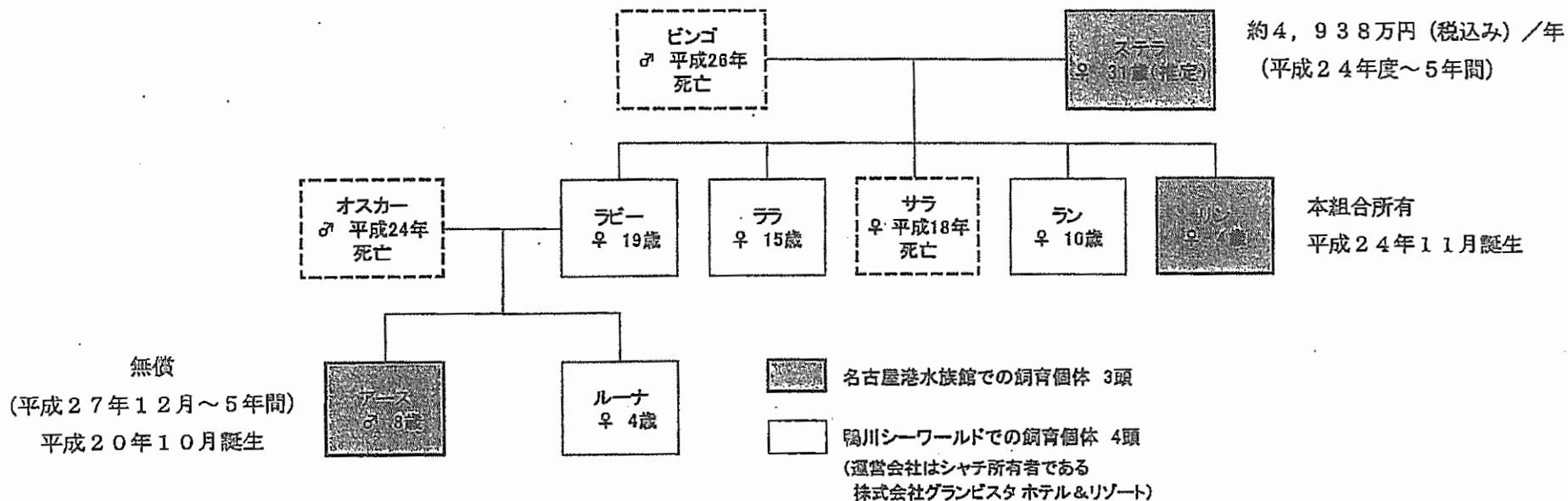
現時点においては、鴨川シーワールドから平成29年度における「アース」譲渡の了解が得られているが、平成30年度以降の譲渡についての鴨川シーワールドの担保は得られておらず、また、これから性成熟を迎える雄シャチについての繁殖研究を主体的に推進していくためにも、この機会を捉え買入れたいと考えている。平成29年の夏休みからのメインプールでの展示を目指し、にぎわいの創出につなげていきたい。

(オ) 買入予定金額

「アース」の買入金額は、4億8,000万円(税込み)を予定している。「アース」は、鴨川シーワールドにおいて飼育中にトレーニングが実施され、公開トレーニングに必要な種目も完了している付加価値の付いた個体である。平成22年に買入れた「ナミ」が5億円(税込み)であったことと比較しても、妥当な金額であると考えている。

なお、「アース」は、鴨川シーワールドのアドバイザーによる指導の下、十分な健康管理がなされている健康な個体である。また、既に名古屋港水族館で飼育展示されており、移送に伴うリスクもない。

【 国内で飼育展示されているシャチの血統図 】



(2) 南極観測船ふじのリニューアルオープン

南極観測船ふじは、「ふじの功績と南極の魅力を探る」をテーマに、実物の持つ魅力をいかしながら、新しい技術を用いた映像による体験型のコーナーを設けるなど、分かりやすく興味をひく展示にリニューアルし、春休み期間中の3月25日にオープンする。